

業者比較表

この事例で発生する4つの作業について、それぞれ3社の見積りを同じ項目で並べた比較表と、各社の会社概要・見積りの考え方・作業体制まで記した詳細を収めています。

こちらはサンプルです(実在の事例ではありません)。

対象物件

地方都市郊外・木造2階建て(築40年／延床95㎡・土地130㎡)。最寄り駅バス15分

現況

空室。残置物あり(家具・仏壇・故人の私物)。雨漏り跡・外壁屋根の経年劣化・境界標一部不明・庭木越境

ページ構成

作業1 残置物撤去・遺品整理

比較表 → A社・B社・C社の詳細

作業2 建物の解体

比較表 → P社・Q社・R社の詳細

作業3 外壁・屋根修繕(雨漏り対応)

比較表 → X社・Y社・Z社の詳細

作業4 境界確定測量

比較表 → 甲・乙・丙事務所の詳細

作業1 比較表

残置物撤去・遺品整理

木造2階建て一軒家分の家財・私物の分別・搬出・処分。仏壇の扱いを含む。

比較する項目	A社 遺品整理専門	B社 不用品回収	C社 地元・便利屋
本体見積り ※各社提示	25～30万円	18～22万円	現地見積り (概算 15～25万)
見積りの内訳	含む:分別・搬出・処分・簡易清掃・貴重品搜索 別:2階狭小階段の割増・エアコン取外し	含む:トラック積載分の搬出・処分 別:積載超過分・家電リサイクル対象品別料金	含む:現地確認後に確定(搬出・処分) 別:書面明細で要確認
対応範囲・特徴	遺品整理士が分別に立会い。形見の仕分けと一緒に	スピード重視。積載量ベースで明快だが上限あり	分量や要望に柔軟。事前の確定額が出しにくい
仏壇・供養	提携寺院を紹介(供養費は寺院により別)	仏壇・供養は非対応	運搬のみ。供養はご本人で寺院手配
資格・保証	遺品整理士在籍。許可明示・作業保険あり	回収許可を明示。保証範囲は要確認	許可・保険の範囲は書面で要確認
工期・遠方対応	1～2日／写真報告あり立会い不要でも可	半日～1日／当日立会いを求める場合あり	応相談／不在なら要相談
揃えた総額 別料金込みの目安	28～34万円	24～32万円	現地確定後に横並び可
評価の目安	●○○コ ●●●品 ●●○ス ●●●遠	●●●コ ●○○品 ●●●ス ●○○遠	●●○コ ●●○品 ●○○ス ●○○遠

確認しておきたいポイント

▶「一式」の範囲は社ごとに異なる A社は分別から清掃・貴重品搜索まで含む。B社の「積み放題」は積載量が上限で、超過分は加算される。金額だけの比較はできない。

▶ 仏壇の供養は撤去費に含まれない 閉眼供養は3社とも費用の対象外。寺院への手配が別途必要となる。A社は提携寺院の紹介があり、段取りの負担は軽い。

▶ 分量による加算条件を確認する B社は積載量の超過分を単位加算する。一軒家分は超過しやすいため、事前に室内の写真と分量を共有すると見積りの精度が上がる。

▶ 総額は別料金を含めて比較する 家電リサイクル対象品・2階からの搬出割増・運搬費が別建てになっていないかを確認する。これらを含めた合計が上段の「揃えた総額」。

優先順位で選ぶなら 決めるのはご本人・ご家族です

コスト重視: 本体が安いB社。ただし積載超過と家電の別料金を総額で確認

品質・供養重視: 遺品整理士が立会い、供養の段取りまで頼れる社

遠方で来られない: 写真報告で立会い不要のA社。当日立会いが要る社は負担が大きい

作業1・A社

詳細

A社

遺品整理専門

分別と供養の段取りに重きを置いた、立会い不要型の見積り。

会社概要
所在地 対象物件から車で約 40分(近県) 設立 2013年／遺品整理を主力に約 12年 登録・許可 一般廃棄物収集運搬(提携)・古物商許可を明示 保有資格 遺品整理士 2名在籍 実績 戸建の遺品整理を年間約 200件 対応エリア 対象物件を含む広域に出張対応

見積りの根拠
遺品を扱う作業と位置づけ、分別に有資格者が立ち会う体制を前提とした見積り。形見の仕分けや貴重品の検索を含むため単価はやや高めだが、遠方のご家族に代わって現地判断を行える点を重視している。

作業体制・工数
人員 作業員3名(うち遺品整理士 1名) 日数 1～2日 車両 2tトラック1台＋軽トラ1台 処分ルート 提携の許可業者へ搬入。リサイクル可能品は分別 記録 作業前・作業後の写真と分別記録を提出

見積り明細	※各社提示の内訳
項目	金額・内容(各社提示)
基本作業費	分別・搬出・積込(人件費を含む)
運搬・処分費	2t車での運搬と処分(数量に応じる)
清掃費	搬出後の簡易清掃
貴重品搜索	通帳・権利証等の搜索を含む
別途となる例	2階狭小階段の搬出割増・エアコン取外し

この見積り成立条件とリスク
▶ 分量が事前共有と大きく違わないこと 室内写真からの想定分量が前提。大幅超過時は再見積り。 ▶ 前面道路に 2t車が止められること 止められない場合は小運搬が加算。 ▶ 仏壇の供養は含まない 閉眼供養は寺院手配(提携寺院を紹介可)。

納期・保証・支払条件
納期 日程確定から2週間程度で着手 保証 作業中の物損に対する保険に加入 支払 作業完了後の請求書払い(前金なし)

作業1・B社 詳細 **B社 不用品回収**

積載量を基準にした明快で速い見積り。上限を超えると加算される。

会社概要
所在地 対象物件から車で約 25分 設立 2017年／不用品回収を主力 登録・許可 一般廃棄物・産業廃棄物の回収許可を明示 保有資格 回収作業のスタッフを常時配置 実績 回収作業を月間約 120件 対応エリア 近隣中心・当日対応にも柔軟

見積りの根拠
トラックの積載量を基準に価格を組み立てる方式で、料金の分かりやすさとスピードを重視した見積り。分別や供養などの手間仕事は範囲外とすることで単価を抑えている。

作業体制・工数
人員 作業員2名 日数 半日～1日 車両 2tトラック1台(積載量が価格の基準) 処分ルート 自社ルートで搬入・処分 記録 作業完了の写真は要望に応じて対応

見積り明細 ※各社提示の内訳	
項目	金額・内容(各社提示)
積載基本料	2t車の積載量までの搬出・処分
超過加算	積載量を超えた分を単位で加算
家電リサイクル	対象品(冷蔵庫等)はリサイクル料が別
別途となる例	仏壇の運搬・供養は対象外

この見積り成立条件とリスク
▶ 残置物が積載量に収まること 超過分は単位加算。一軒家分は超過しやすい。 ▶ 当日の立会いが得られること 立会いを求められる場合がある。 ▶ 分別を要しないこと 細かな分別・貴重品搜索は範囲外。

納期・保証・支払条件
納期 数日で着手可(当日対応の場合あり) 保証 保証の範囲は書面で要確認 支払 作業当日の支払い

作業1・C社

詳細

C社

地元・便利屋

現地を見てから確定する柔軟型。事前の確定額は出しにくい。

会社概要
所在地 対象物件と同一市内 設立 個人事業・地域密着で対応 登録・許可 許可・保険の範囲は書面で要確認 保有資格 代表が現地確認から作業まで一貫対応 実績 地域での片付け・運搬を多数 対応エリア 市内中心・小回りが利く

見積りの根拠
現地を確認してから内容と金額を確定する方式で、分量や要望への柔軟さを重視した見積り。事前の確定額は出しにくい が、細かな要望に個別対応しやすい。

作業体制・工数
人員 2～3名(内容による) 日数 応相談 車両 軽トラ～2t(分量による) 処分ルート 地域の処分先へ搬入 記録 要望に応じて対応

見積り明細	※各社提示の内訳
項目	金額・内容(各社提示)
現地見積り	現地確認のうえ作業内容と金額を確定
搬出・処分	分量に応じて算出
仏壇	運搬のみ対応(供養はご本人手配)
確認事項	書面明細の項目を要確認

この見積り成立条件とリスク
▶ 現地確認の日程が取れること 確認を経てからの見積り・着手となる。 ▶ 作業当日の連絡体制 遠方で不在の場合は進め方を要相談。 ▶ 許可・保険の範囲 契約前に書面で確認しておく。

納期・保証・支払条件
納期 現地確認の日程による 保証 範囲は書面で要確認 支払 応相談

作業2 比較表

建物の解体

木造2階建て(延床95㎡)の本体解体・廃材処分・整地。付帯工事や届出の扱いを含む。

比較する項目	P社 解体専門	Q社 地元・解体	R社 本体価格重視
本体見積り ※各社提示	160～190万円	130～160万円	100～130万円 (本体のみ)
見積りの内訳	含む:本体・基礎撤去・整地・廃材処分・各種届出代行 別:地中埋設物・アスベスト除去 条件付き	含む:本体・整地・廃材処分 別:届出・アスベスト調査・ライフライン停止 別料金	含む:本体解体 別:塀・庭木・基礎・残置物・整地 付帯は別
対応範囲・特徴	届出から整地まで一括。抜け漏れが少ない	本体は堅実。付帯や届出は施主側の段取りが要る	本体価格は最安帯。付帯を足すと総額が動く
追加リスク	埋設物・アスベストは判明時のみ別(事前調査あり)	アスベスト調査を別で行い結果次第で変動	付帯の積み上げで最終額の幅が大きい
資格・証明	解体業の登録明示。マニフェスト発行	登録明示。マニフェスト発行は要確認	登録・証明の範囲は書面で要確認
工期・遠方対応	2～3週間／近隣挨拶に同行、遠方でも回しやすい	2～4週間／道路狭く重機搬入に制約の可能性	応相談／付帯確定後にスケジュール
揃えた総額 付帯・届出込みの目安	160～190万円	150～185万円	145～185万円
評価の目安	●○○コ ●●●品 ●●●ス ●●●遠	●●●コ ●●●品 ●●○ス ●●○遠	●●●コ ●○○品 ●○○ス ●○○遠

確認しておきたいポイント

▶「本体価格」と「総額」は別物

本体だけか、塀・庭木・基礎・残置物・整地まで含むかで大きく変わる。安く見える見積りは本体のみ
のことがある。

▶「出たら追加」の代表 2項目

地中埋設物(古い基礎・浄化槽)とアスベスト(築40年は事前調査が一般的)。判明したら別料金にな
りやすい。

▶届出とライフライン停止の担い手

一定規模の解体は事前届出が必要。業者代行か施主手配かで手間と抜け漏れリスクが変わ
る。P社は届出代行を含む。

▶適正処分の証明の有無

廃材は法に沿った処分が必要。マニフェスト(適正処分の証明)の発行は、後々のトラブルを避ける確認
点。

優先順位で選ぶなら 決めるのはご本人・ご家族です

コスト重視:

本体が最安帯のR社。付帯を足した総額で必ず比較

品質・確実性重視:

届出・整地・証明まで一括で抜け漏れの少なIP社

遠方で来られない:

施主手配が最小のP社。手配が残る社は遠方だと確認が増える

作業2・P社

詳細

P社 解体専門

届出から整地まで一括で担い、抜け漏れの少なさを重視した見積り。

会社概要
所在地 対象物件から車で約 50分 設立 2008年／解体を専業 登録・許可 解体工事業の登録を明示 保有資格 解体工事施工技士が在籍 実績 木造解体を年間約 150件 対応エリア 広域に出張・遠方対応の体制

見積りの根拠
届出・近隣対応・整地・適正処分までを一括で請け負い、施主側の手配を最小にすることを重視した見積り。事前調査を行い、追加が出やすい項目をあらかじめ洗い出している。単価はやや高めだが総額のぶれが小さい。

作業体制・工数
人員 作業員4〜5名＋重機オペレーター 日数 2〜3週間 車両・重機 ミニ油圧ショベル・ダンプ複数 処分ルート 許可を持つ中間処理施設へ搬入 記録 マニフェスト発行・工程写真を提出

見積り明細	※各社提示の内訳
項目	金額・内容(各社提示)
本体解体費	上屋・内装の解体(人件費・重機を含む)
基礎撤去・整地	基礎の撤去と整地まで
廃材処分費	分別・運搬・適正処分
届出・近隣対応	各種届出の代行と近隣挨拶の同行
別途となる例	地中埋設物・アスベストが判明した場合

この見積り成立条件とリスク
▶ 地中に埋設物がないこと 古い基礎・浄化槽等が出た場合は撤去費が加算。 ▶ アスベスト非含有または事前把握 含有が判明した場合は除去費が別途。 ▶ 重機の搬入路が確保できること 前面道路の条件で工程が変わる場合がある。

納期・保証・支払条件
納期 契約から3〜4週間で着工 保証 近隣・埋設物対応の取り決めに明示 支払 着工前一部・完了後精算

作業2・Q社 詳細 Q社 地元・解体

本体工事は堅実。届出やライフライン停止は施主側の段取りが残る。

会社概要
所在地 対象物件と同一市内 設立 2011年／地域の解体・外構 登録・許可 解体工事業の登録を明示 保有資格 現場管理の有資格者が対応 実績 市内での解体を多数 対応エリア 市内中心・地域密着

見積りの根拠
本体解体と整地・処分を中心に、地域相場に沿った価格を組み立てた見積り。届出やアスベスト調査、ライフライン停止は範囲外とすることで本体価格を抑えている。

作業体制・工数
人員 作業員3〜4名 日数 2〜4週間 車両・重機 油圧ショベル・ダンプ 処分ルート 地域の処理施設へ搬入 記録 マニフェスト発行の有無は要確認

見積り明細 ※各社提示の内訳	
項目	金額・内容(各社提示)
本体解体費	上屋・内装の解体
整地・処分費	整地と廃材処分
別途となる例①	各種届出・アスベスト調査
別途となる例②	電気・ガス・水道の停止(施主手配)

この見積り成立条件とリスク
▶ 前面道路で重機搬入が可能なこと 道路が狭い場合は手壊し併用で工期・費用が変動。 ▶ 届出・停止手配を施主が行うこと 代行を依頼する場合は別途。 ▶ アスベスト調査の結果 含有の場合は除去費が加算。

納期・保証・支払条件
納期 契約から3週間程度で着工 保証 範囲は書面で確認 支払 着工前一部・完了後精算

作業2・R社

詳細

R社

本体価格重視

本体価格は最安帯。付帯を足すと最終額の幅が大きくなる。

会社概要
所在地 対象物件から車で約 35分 設立 解体・不用品を幅広く対応 登録・許可 登録・証明の範囲は書面で要確認 保有資格 現場ごとに体制を編成 実績 低価格帯の解体を中心に対応 対応エリア 広域・価格訴求

見積りの根拠
建物本体の解体を最小構成で価格提示し、付帯(塀・庭木・基礎・残置物・整地)は別項目とする方式の見積り。本体の安さが特徴だが、付帯を積み上げると総額は他社に近づく。

作業体制・工数
人員 作業員3名前後(内容による) 日数 応相談 車両・重機 現場に応じて手配 処分ルート 案件ごとに手配 記録 証明・記録の範囲は要確認

見積り明細	※各社提示の内訳
項目	金額・内容(各社提示)
本体解体費	建物本体の解体のみ
付帯(別項目)	塀・庭木・基礎の撤去
残置物・整地	残置物処分・整地は別途
確認事項	本体と付帯の切り分けを書面で確認

この見積り成立条件とリスク
▶ 付帯工事の要否を切り分けること 付帯を足すと最終額が大きく動く。 ▶ 残置物が別費用となること 作業1と重複しないよう範囲を確認。 ▶ 登録・証明の範囲 契約前に書面で確認しておく。

納期・保証・支払条件
納期 付帯確定後にスケジュール 保証 範囲は書面で要確認 支払 応相談

作業3 比較表

外壁・屋根修繕(雨漏り対応)

2階天井の雨漏り浸入箇所の補修と、外壁・屋根の経年劣化への対応。範囲で費用が変わる。

比較する項目	X社 地域工務店	Y社 屋根・外壁専門	Z社 リフォーム総合
見積り範囲と金額 ※各社提示	応急〜部分補修 概算15〜40万円	屋根中心の改修 概算60〜120万円	外壁屋根まとめて 概算120〜200万円
見積りの内訳	含む:浸入箇所の特定・部分補修・コーキング 別:足場・広範囲の張替 別料金	含む:屋根の葺替／カバー・防水・足場 別:外壁は別見積り	含む:外壁・屋根・防水・足場を一括 別:下地の傷み次第で追加 条件付き
対応範囲・特徴	まず止水を優先する最小範囲。売却・解体前提なら過不足少	屋根の根本改修に強い。保有・賃貸で長く使う場合向き	外壁屋根を一度に。足場を一回で済ませられる
原因調査	散水試験など原因調査を実施(有無を要確認)	屋根の下地まで点検。調査報告あり	建物全体を点検し改修プランを提示
資格・保証	建設業許可を明示。補修部分の短期保証	屋根工事の実績・保証年数を明示	リフォーム瑕疵保険の対応可否を確認
工期・遠方対応	数日〜／写真報告あり遠方でも進めやすい	1〜2週間／中間報告あり	2〜3週間／打合せ回数がやや多い
出口との相性 どの方針に向くか	売却・解体前の最小止水に	保有・賃貸で長く使うなら	保有・活用で全面刷新なら
評価の目安	●●●コ ●○○品 ●●●ス ●●○遠	●●○コ ●●●品 ●●○ス ●●○遠	●○○コ ●●●品 ●○○ス ●○○遠

確認しておきたいポイント

▶ **直す範囲で金額の桁が変わる** 止水だけの応急補修と、屋根葺替・外壁全面では金額の桁が違う。まず出口を決めると必要範囲が絞れる。

▶ **足場代は範囲に関わらず発生する** 高所作業には足場が要る。外壁と屋根を別々に頼むと足場を二度組むことになり割高になる。

▶ **原因調査を経た見積りか** 雨漏りは原因箇所の特定が肝心。調査を経ずに範囲を決めると、直しても止まらないことがある。

▶ **下地の傷みは開けてから判明する** 外壁・屋根を剥がすと下地の腐食が見つかり追加になることがある。追加が出る条件と上限の考え方を確認する。

優先順位で選ぶなら 決めるのはご本人・ご家族です

売却・解体を予定: 止水の最小範囲で足りぬ社。大規模改修は過剰になりやすい

保有・賃貸で長く使う: 屋根を根本から直すY社、外壁屋根一括のZ社。足場を一度で

遠方で来られない: 写真・中間報告があり打合せが少ない社。報告体制の手厚さで選ぶ

作業3・X社

詳細

X社

地域工務店

止水を優先する最小範囲。売却・解体を予定する場合に過不足が少ない。

会社概要
所在地 対象物件と同一市内 設立 地域密着の工務店 登録・許可 建設業許可を明示 保有資格 現場ごとに有資格者が対応 実績 戸建の補修・改修を多数 対応エリア 市内中心

見積りの根拠
まず雨漏りを止めることを優先し、必要最小限の範囲で価格を組み立てた見積り。売却や解体を予定する物件で、過大な改修を避けたい場合に適した構成。

作業体制・工数
人員 2～3名 日数 数日～ 車両 作業車・部分足場 工法 浸入箇所の特定と部分補修・コーキング 記録 作業前後の写真を報告

見積り明細	※各社提示の内訳
項目	金額・内容(各社提示)
調査・原因特定	散水試験等による浸入箇所の特定
部分補修	該当箇所の補修・コーキング
別途となる例①	足場(範囲により必要)
別途となる例②	広範囲の張替が必要な場合

この見積り成立条件とリスク
▶ 浸入箇所が特定できること 複数箇所・広範囲の場合は範囲と費用が増える。 ▶ 下地の腐食が軽微であること 開けて腐食が判明した場合は追加。 ▶ 足場の要否 高所は足場が必要となり別途。

納期・保証・支払条件
納期 日程確定から数日で着手 保証 補修部分の短期保証 支払 完了後の請求書払い

作業3・Y社 詳細 Y社 屋根・外壁専門

屋根の根本改修に強い。保有・賃貸で長く使う前提の見積り。

会社概要
所在地 対象物件から車で約 30分 設立 屋根・外壁の専門施工 登録・許可 建設業許可・屋根工事の実績を明示 保有資格 屋根の点検・調査に対応する有資格者が在籍 実績 屋根の葺替・カバー工法を多数 対応エリア 広域対応

見積りの根拠
屋根の下地まで点検し、根本から改修することを重視した見積り。保有・賃貸で長く使う前提に立ち、再発を抑える構成。外壁は別見積りとして切り分けている。

作業体制・工数
人員 3～4名 日数 1～2週間 車両 作業車・全面足場 工法 葺替またはカバー工法・防水 記録 下地点検の報告と中間報告

見積り明細 ※各社提示の内訳	
項目	金額・内容(各社提示)
足場設置	全面足場の設置・解体
屋根改修	葺替またはカバー工法
防水処理	要所の防水
別途となる例	外壁の改修(別見積り)

この見積り成立条件とリスク
▶ 屋根下地の状態 下地の傷みが大きい場合は補修が加算。 ▶ 外壁は別途となること 同時施工なら足場を共用でき効率的。 ▶ 天候による工程 雨天順延の可能性。

納期・保証・支払条件
納期 日程確定から1～2週間 保証 屋根工事の保証年数を明示 支払 着工前一部・完了後精算

作業3・Z社 詳細 Z社 リフォーム総合

外壁・屋根を一度に。足場を一回で済ませられる全面刷新型。

会社概要
所在地 対象物件から車で約 45分 設立 総合リフォーム 登録・許可 建設業許可を明示 保有資格 リフォーム瑕疵保険の対応可否を要確認 実績 戸建の総合改修を多数 対応エリア 広域対応

見積りの根拠
外壁・屋根・防水を一括で行い、足場を一度で済ませることを重視した見積り。保有・活用で全面的に刷新したい場合に適する。打合せの回数はやや多い。

作業体制・工数
人員 4名前後＋管理 日数 2～3週間 車両 作業車・全面足場 工法 外壁・屋根・防水の一括施工 記録 建物全体の点検と改修プランを提示

見積り明細 ※各社提示の内訳	
項目	金額・内容(各社提示)
足場設置	全面足場(一括施工で一度)
外壁改修	塗装または張替
屋根改修	葺替・防水
別途となる例	下地の傷みが判明した場合

この見積り成立条件とリスク
▶ 下地の傷みの程度 剥がして腐食が判明した場合は追加。 ▶ 施工範囲の確定 範囲で金額が大きく動くため事前確定が要。 ▶ 打合せの回数 仕様決定の打合せがやや多い。

納期・保証・支払条件
納期 日程確定から2～3週間 保証 瑕疵保険の対応可否を要確認 支払 着工前一部・完了後精算

作業4 比較表

境界確定測量

境界標が一部不明。売却・分筆で境界の明示が必要になる場合の測量。土地家屋調査士が担う。

比較する項目	甲事務所 土地家屋調査士	乙事務所 土地家屋調査士	丙事務所 測量・調査
見積り種別と金額 ※各社提示	確定測量 概算40～60万円	確定測量 概算35～55万円	現況測量から 概算15～25万～
見積りの内訳	含む:現地測量・隣地立会い・境界標設置・確定図・登記用書類 別:官民境界の協議が要する場合 条件付き	含む:現地測量・立会い・確定図 別:境界標の再設置・書類作成の一部	含む:現況の測量・図面 別:確定測量・立会いは別工程 範囲が違う
測量の種類	確定測量(隣地の同意を得て境界を確定)	確定測量	現況測量が中心(確定とは別物)
隣地立会い	隣地への連絡・立会い調整まで対応	立会い調整に対応(回数により変動)	現況測量では立会い不要な範囲
資格	土地家屋調査士が担当(境界確定は独占業務)	土地家屋調査士が担当	現況測量の範囲。確定は調査士へ
工期・遠方対応	2～3ヶ月／立会い日程は代行調整、遠方でも回りやすい	2～3ヶ月／立会いの一部は施主同席を求める場合あり	数週間／ただし確定には別途工程
売却に使えるか 境界明示の要件	使える(確定測量図)	使える(確定測量図)	単独では不足(確定測量が別途要)
評価の目安	●○○コ ●●●品 ●●○ス ●●○遠	●●○○コ ●●●品 ●●○ス ●●○遠	●●●コ ●○○品 ●●●ス ●○○遠

確認しておきたいポイント

▶「**現況測量**」と「**確定測量**」は別物

▶ **隣地の立会いに時間がかかる**

▶ **官民境界があると工程が増える**

▶ **境界確定は資格者の独占業務**

丙が安いのは現況測量(今ある位置を測るだけ)だから。売却で求められる境界明示には確定測量(隣地の同意を得て確定)が必要で、種類が違う。

確定測量は隣地所有者の立会いと同意が要り、日程調整に数ヶ月かかることがある。遠方では調整の代行可否が負担を分ける。

土地が道路や水路に接していると、役所との境界協議が加わり、費用と期間が増える場合がある。

確定測量は土地家屋調査士の業務。akihouseは複数事務所への見積り取次と日程調整を行い、比較しやすく整える。

優先順位で選ぶなら 決めるのはご本人・ご家族です

売却を予定: 確定測量図が出せる甲・乙事務所。現況測量だけでは不足

当面は保有: 急がないなら現況の把握から。売却時に確定測量へ進める前提で段階的に

遠方で来られない: 立会い調整まで代行する甲事務所。施主同席を求める社は日程が組みにくい

作業4・甲事務所 詳細 甲事務所 土地家屋調査士

隣地立会いの調整まで代行。遠方でも回りやすい確定測量。

会社概要
所在地 対象物件から車で約 40分 有資格者 土地家屋調査士が在籍 登録 土地家屋調査士会に登録 対応 境界確定・分筆・地積更正まで 実績 確定測量を多数(相続案件に対応) 対応エリア 広域・遠方案件の実績

見積りの根拠
隣地所有者への連絡・立会い調整までを含め、遠方のご依頼者に代わって進めることを重視した見積り。売却に使える確定測量図の作成までを一括で行う。

作業体制・工数
担当 土地家屋調査士＋測量スタッフ 工程 現地測量→隣地立会い→境界標設置→確定図作成 期間 2～3ヶ月(立会い日程による) 立会い 隣地への連絡・日程調整を代行 成果物 確定測量図・登記用書類

見積り明細 ※各社提示の内訳	
項目	金額・内容(各社提示)
現地測量	現況の測量・基準点の設置
立会い・調整	隣地立会いの連絡・日程調整
境界標設置	確定した境界への標の設置
図面・書類	確定測量図・登記用書類の作成
別途となる例	官民境界の協議が必要な場合

この見積り成立条件とリスク
▶ 隣地所有者の協力が得られること 立会い・同意に時間を要する場合がある。 ▶ 官民境界の有無 道路・水路に接する場合は協議が加わる。 ▶ 境界標の再設置の要否 不明箇所の数により変動。

納期・保証・支払条件
納期 2～3ヶ月(立会いの進捗による) 保証 確定図は登記・売却に使用可 支払 着手金・完了後精算

作業4・乙事務所

詳細

乙事務所

土地家屋調査士

確定測量に対応。立会いの一部は施主同席を求める場合がある。

会社概要
所在地 対象物件から車で約 35分 有資格者 土地家屋調査士が在籍 登録 土地家屋調査士会に登録 対応実績 境界確定・確定図作成 地域の確定測量を多数 対応エリア 地域中心

見積りの根拠
確定測量を標準的な工程で行う見積り。立会いの一部で施主の同席を求める場合があり、その分、費用は甲事務所よりやや抑えめに構成されている。

作業体制・工数
担当 土地家屋調査士＋測量スタッフ 工程 現地測量→立会い→確定図作成 期間 2～3ヶ月 立会い 調整に対応(回数により変動) 成果物 確定測量図

見積り明細 ※各社提示の内訳	
項目	金額・内容(各社提示)
現地測量	現況の測量
立会い	隣地立会いの調整(回数による)
確定図作成	確定測量図の作成
別途となる例	境界標の再設置・書類作成の一部

この見積り成立条件とリスク
▶ 立会いに施主が同席できること 一部で同席を求められる場合がある。 ▶ 隣地の協力 同意に時間を要する場合がある。 ▶ 再設置・書類の範囲 内容により別途となる場合がある。

納期・保証・支払条件
納期 2～3ヶ月 保証 確定図は登記・売却に使用可 支払 着手金・完了後精算

作業4・丙事務所

詳細

丙事務所

測量・調査

現況測量が中心で低価格。売却に必要な確定測量は別工程となる。

会社概要	
所在地	対象物件と同一市内
対応	現況測量・図面作成が中心
登録	確定測量は連携する調査士が担当
特徴	現況の把握を安価・短期で
実績	現況測量・図面作成を多数
対応エリア	市内中心

見積りの根拠
今ある境界標や構造物の位置を測る現況測量を中心とした見積り。安価で短期だが、売却に求められる確定測量とは種類が異なり、確定は別工程となる。

作業体制・工数	
担当	測量スタッフ(確定は連携調査士)
工程	現況測量→図面作成
期間	数週間
立会い	現況測量では立会い不要な範囲
成果物	現況測量図

見積り明細 ※各社提示の内訳	
項目	金額・内容(各社提示)
現況測量	今ある位置の測量
図面作成	現況測量図の作成
別工程となる例①	確定測量(隣地立会い・同意)
別工程となる例②	境界標の設置・確定図

この見積り成立条件とリスク
▶ 売却には確定測量が必要なこと 現況測量図単独では境界明示に不足。 ▶ 確定は別工程・別費用 確定測量へ進める場合は追加。 ▶ 用途の確認 目的に応じて測量の種類を選ぶ。

納期・保証・支払条件	
納期	数週間(現況測量)
保証	現況図は確定の前段として利用
支払	応相談